

平成29年11月22日
国土交通省 九州地方整備局

記者発表資料

九州地方整備局管内における地域交通拠点部門モデル「道の駅」が認定されました！

～全国各地の「道の駅」の模範となって質的向上に寄与します～

「道の駅」は、平成5年の制度創設以来、現在では全国で1,134箇所になり、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段として、その重要性が高まっています。

国土交通省では、「道の駅」の質的向上に向けた取組として、全国各地の「道の駅」の模範となって質的向上に寄与する“特定テーマ型モデル「道の駅」”の取組を昨年度から実施しているところです。

今年度は、“地域交通拠点”をテーマとして募集し、有識者懇談会における審議・選定を経て、本日、全国で7箇所を認定、九州地方整備局管内では、1箇所認定されましたのでお知らせします。

1. 認定結果

○ 平成29年度 モデル「道の駅」(地域交通拠点部門) 認定数 1箇所

・道の駅「むなかた」(福岡県宗像市)

【特長】民間バス事業者との連携により、路線バスのルートを「道の駅」経由に変更。

○ 認定された「道の駅」は、全国の「道の駅」からの視察及び講師の要請に対応するなど、「道の駅」の質的向上に貢献する役割を担います。

○ 認定証授与式については、別途、お知らせします。

○ その他、詳細は「道の駅案内」サイトをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/index.html>

国土交通省 九州地方整備局

TEL:092-471-6331 (代表)

TEL:092-476-3534 (交通対策課 直通)

道路部 道路情報管理官

やなぎた せいじ

柳田 誠二 (内線:4114)

交通対策課長

あさい ひろみ

浅井 博海 (内線:4511)

特定テーマ型モデル「道の駅」の概要

- 地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段として、「道の駅」の重要性が高まっている。
- 全国各地の「道の駅」の模範となって広く周知することで、質的向上に寄与
- 「道の駅」が有する個々の「機能」が異なる点を踏まえ、模範性を高めるために、テーマ（部門）を設定
- 平成29年度は、テーマ（部門）として“地域交通拠点”を設定



平成29年度 モデル「道の駅」（地域交通拠点部門）

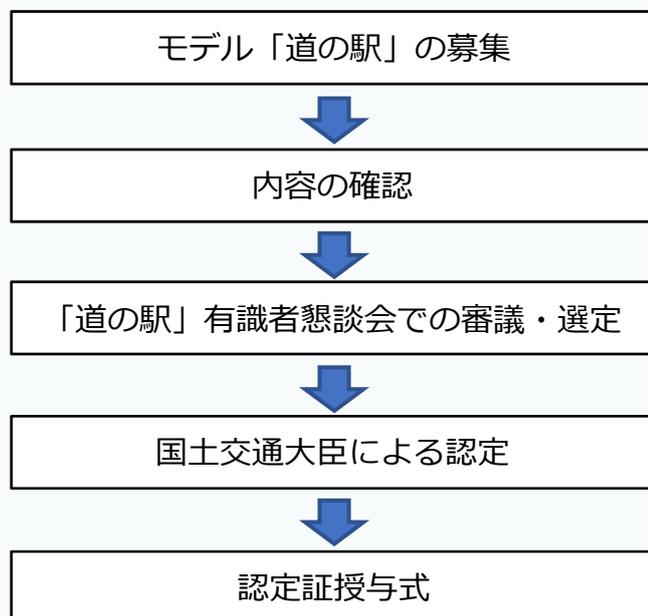
国土交通大臣認定

中山間地域及びその周辺地域において、「道の駅」が公共交通モード間の接続拠点となっており、接続機能向上の取組により、現時点で地域住民の生活の足の確保に資する成果をあげているもの

(対象イメージ)



(認定の流れ)

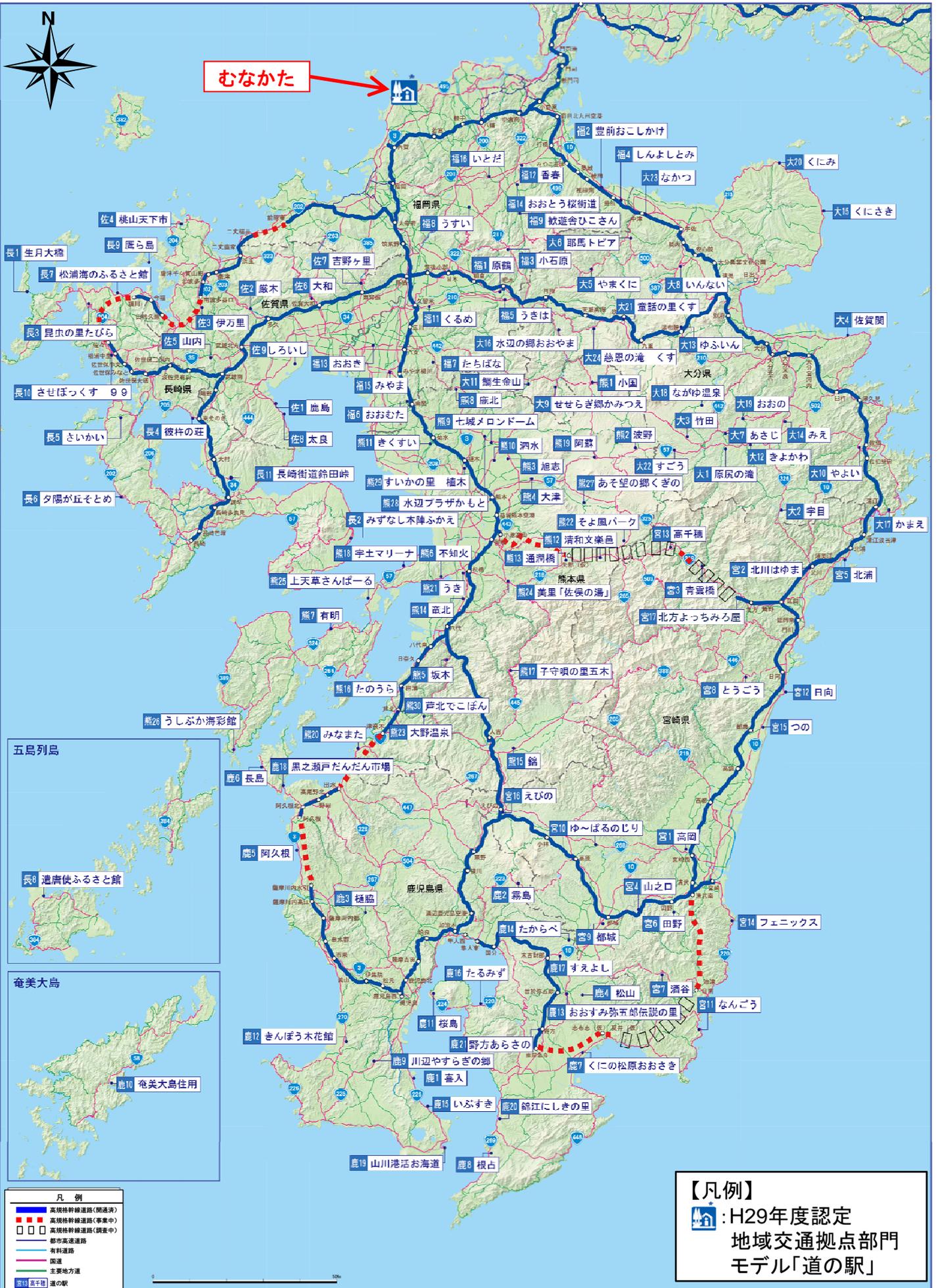


「道の駅」有識者懇談会

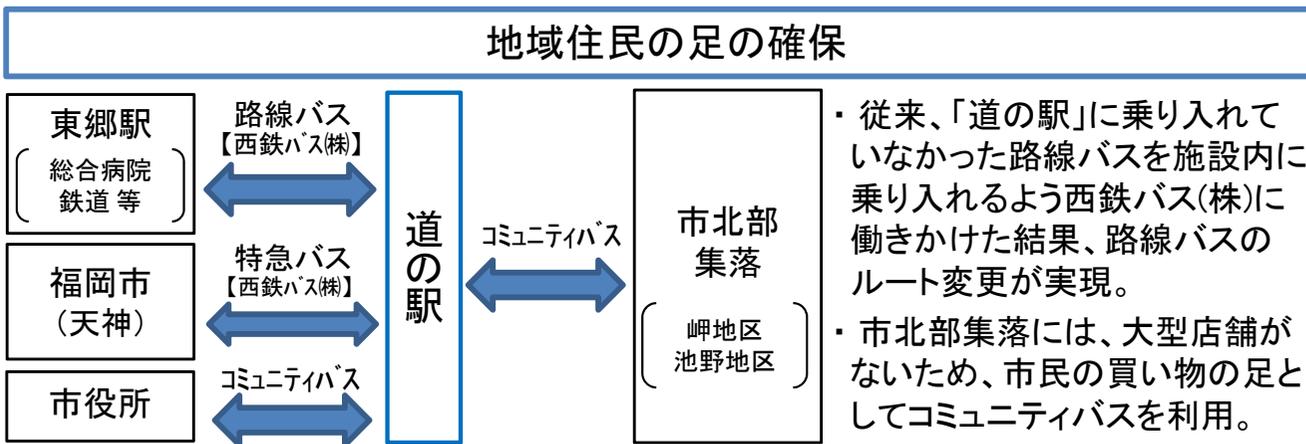
- | | |
|-----------|-----------------------------------|
| 委員長：石田 東生 | 〔 筑波大学大学院
特命教授 〕 |
| 楓 千里 | 〔 (株)JTBパブリッシング
取締役 法人情報事業部長 〕 |
| 篠原 靖 | 〔 跡見学園女子大学
マネジメント学部准教授 〕 |
| 根岸 裕孝 | 〔 宮崎大学
地域資源創成学部准教授 〕 |
| 山田 知子 | 〔 比治山大学
現代文化学部教授 〕 |

(敬称略・五十音順)

九州地方整備局管内「道の駅」位置図



- 民間バス事業者との連携により、**路線バスのルート**を「道の駅」**経由に変更**。
- さらに、平成26年より、「道の駅」から天神行きの特急バス路線を**新設**。



乗継利便性向上の取組

◇ 情報提供施設前の待合スペース



◇ 物産館内の待合スペース

